

偉大な新聞人

安藤 和風

あんどう わふう

出身地 秋田市

1866年（慶応2年）～1936年（昭和11年）

秋田青年会を組織し、新思想のリーダーとして活躍。その後、秋田魁新報社の主筆。豊かな知識と鋭い洞察力、明快な論評と公正な編集で多くの読者を獲得。社長としても敏腕を発揮した。



年譜

- 1866年 秋田市に生まれる。幼名・国之助、本名・和風。
- 1882年 秋田日々新聞社記者、その後秋田日報に転ずる。自由民権思想に共鳴し、秋田青年会を結成。
- 1891年 私立東京商業学校卒業。
- 1900年 秋田魁新報に入り、編集記者となる。
- 1901年 秋田魁新報の主筆となる。
- 1923年 秋田魁新報社常務取締役。主筆・編集局長を兼任。
- 1928年 秋田魁新報社の社長となる。
- 1931年 新社屋完成。若槻首相を迎え、社旗掲揚式。
- 1936年 秋田市で没。70歳。